

# 平成25年度に実施した 一般会計の主な事業と決算額



## 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしの基盤・安全安心)

新メール配信システムの構築 (防災・気象情報をまちの安全ひろメールで配信)	56万円
防犯灯ESCO事業 (自治会所有の防犯灯をLED化)	3,217万円
防災ハザードマップ作成・全戸配布	1,042万円
橋りょう長寿命化修繕計画事業	1億7,343万円
耐震・エコ・子育て住宅改修支援事業	9,935万円

## 恵み豊かな自然と共生するまちづくり(環境共生)

小水力発電導入検討地の概略・基本設計	515万円
ペレットストーブ試験導入	42万円
太陽光発電所の発電・売電	1,702万円
水処理施設へのゼオライト設備の設置 (ゼオライトでセシウムを吸着除去)	2,415万円
合併処理浄化槽設置補助事業	5,963万円

## 個々が光り輝くまちづくり(健康・福祉)

5歳児就学前健診モデル事業	27万円
病児保育事業	1,978万円
第3子以降幼稚園保育料軽減補助事業	4,726万円
障害者相談支援事業所の増設	6,437万円
国民健康保険税の負担緩和	7億1,900万円

## 地域資源を活かした活力あるまちづくり(産業活力)

特例子会社設立支援 (障害者の雇用促進)	448万円
企業誘致に係る助成対象の拡大	1億4,044万円
農畜産物販売戦略モデル事業	25万円
鳥獣被害対策実施隊創設	80万円
まちなか居住補助	400万円

## 豊かな心を育むまちづくり(教育・文化)

マイタウンティーチャーの増員 (少人数指導補助の非常勤講師)	5,748万円
スクールソーシャルワーカーの配置	334万円
アーツ前橋の管理運営	1億1,166万円
芸術文化推進事業	4,922万円

## 市民協働のまちづくり(協働・行政経営)

自治会一括交付金	3億8,289万円
都市魅力アップ共創推進 (シティプロモーション)	334万円
ご当地ナンバープレートの交付	28万円
パスポートセンターの設置	960万円
高齢者によるコミュニティビジネスの創出	75万円

# 財政健全化法に基づく財政状況指標

平成25年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」の規定による健全化判断比率と資金不足比率を算定しました。本市はいずれ

の指標も早期健全化などを求められる基準を下回っていて、健全な状態です。今後もより一層の財政の健全化を図っていきます。

## 健全化判断比率 (単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
本市の指標	赤字額なし	赤字額なし	8.9	70.8
早期健全化基準※	11.25	16.25	25.0	350.0
財政再生基準※	20.00	30.00	35.0	-

## 資金不足比率 (単位：%)

区分	水道事業会計	下水道事業会計	農業集落排水事業特別会計	新エネルギー発電事業特別会計
本市の指標	資金不足額なし			
経営健全化基準※	20.0	20.0	20.0	20.0

※基準を超えた場合は、財政健全化や財政再生の手続きに入らなければなりません。

### 用語解説

- **実質赤字比率**  
一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の割合
- **連結実質赤字比率**  
全ての会計を合わせた赤字の割合
- **実質公債費比率**  
公債費(借入金と利息の返済額)とこれに準ずる経費の割合
- **将来負担比率**  
企業会計、出資法人も含めた将来の支払予定額の割合
- **資金不足比率**  
事業規模からみた各公営企業の資金不足の割合

# 平成25年度 決算のお知らせ

昨年度の各会計決算が、9月に開かれた第3回定例市議会で認定されました。その概要についてお知らせします。本市ホームページにも詳しい資料を掲載しています。なお、金額は1万円未満を整理しています。

問い合わせは 財政課 ☎027-898-6542

## ■決算概要

一般会計決算額の歳入歳出総額は、歳入が1,412億7,012万円、歳出が1,375億1,197万円でした。歳入歳出差引額は37億5,815万円で、本年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、27億7,397万円の黒字。このうち15億円を財政調整基金に積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、5億9,096万円のプラスになりました。

市債(借入金)は、土地開発公社の解散に伴い、新たに

約44億円の第三セクター等改革推進債を発行したことなどで、前年度の発行額を約40億6,000万円上回りました。この結果、市債残高は、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債を除くと、前年度に比べ約5億円増の約991億円となりました。

今後も、市民サービスの一層の充実を図るため、自主財源の確保や事業の選択と集中に努め、市民の視点に立った行財政改革を着実に推進していきます。

## ■平成25年度各会計決算

会計名	歳入	歳出	
一般会計	1,412億7,012万円	1,375億1,197万円	
特別会計	国民健康保険	391億7,431万円	376億7,144万円
	後期高齢者医療	35億5,832万円	35億4,197万円
	競輪	167億4,622万円	160億8,354万円
	農業集落排水事業	12億348万円	11億9,997万円
	介護保険	242億2,480万円	238億7,744万円
	母子寡婦福祉資金貸付金	1億8,276万円	1億909万円
	新エネルギー発電事業	1,710万円	1,703万円
	小計	851億699万円	825億48万円
合計	2,263億7,711万円	2,200億1,245万円	

会計名	収入	支出	
企業会計	水道事業	73億6,752万円	92億3,535万円
	下水道事業	106億1,780万円	129億1,358万円
合計	179億8,532万円	221億4,893万円	

※水道事業・下水道事業の支出は、現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。

## ■一般会計 歳入と歳出の内訳

